

# 環境経営レポート

(運用期間:2023年5月1日~2024年4月30日)

第02号



## 有限会社 堀池設備工業

作成日:2024年6月30日

更新日:2024年10月1日

# 目 次

I. 組織の概要	.....	P 1
II. 実施体制	.....	P 3
III. 環境経営方針	.....	P 4
IV. 環境経営目標	.....	P 5
V. 環境経営計画	.....	P 6
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	.....	P 7
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画	.....	P 8
VIII. 当社の取組み	.....	P 9
◆地域との融合◆	.....	P 10
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無	.....	P 11
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P 12

# I 組織の概要

1. 事業者名 有限会社 堀池設備工業
2. 代表者氏名 堀池 房見
3. 所在地 本社 静岡市清水区小河内3199  
庵原事務所・資機材置場 静岡市清水区庵原町584-19  
駐車場 静岡市清水区庵原町589-1
4. 事業活動 建設業(土木、とび・土工、石、管、舗装、しゅんせつ、水道施設工事業)
5. 従業員数 9名
6. 環境管理責任者及び連絡担当者 渡邊 大介
7. 連絡先 本社 TEL (054)-393-2855 FAX (054)-393-2931  
E-mail: horisetsu@tulip.ocn.ne.jp 庵原事務所 FAX (054)-625-6999
8. 建設業許可、産業廃棄物収集・運搬許可  
建設業  
静岡県知事許可(般-3) 15251号  
許可業種:土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業  
許可年月日:2021年6月26日 有効期限:2026年6月25日  
  
産業廃棄物収集運搬業  
静岡県 第02201108152号  
許可品目:廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず  
許可年月日:2019年2月17日 有効期限:2029年2月16日
9. 事業の規模  
① 設立(現在地) 1984年4月  
② 事業規模

活動規模	単位	2021年4月期	2022年4月期	2023年4月期	2024年4月期
売上高	百万円	113	90	120	127
従業員	人	8	8	9	9
事務所床面積	m <sup>2</sup>	0	52.2	52.2	52.2
資機材置場	m <sup>2</sup>	325.0	325.0	325.0	325.0
駐車場	m <sup>2</sup>	-	468.0	468.0	468.0
受託産業廃棄物収集運搬量	t	345.5	223.6	89.2	459.67

## 受託した産業廃棄物処理量実績【2023年5月～2024年4月】

産業廃棄物等種類		収集運搬量 (t)	再資源化量 (t)	再資源化率 (%)
産業 廃棄 物	廃プラスチック	0	-	-
	金属くず	0	-	-
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0	-	-
	がれき類	459.67	459.67	100
	紙くず	0	-	-
	木くず	0	-	-
	繊維くず	0	-	-

10. 産業廃棄物運搬における状況

事業の区分 収集運搬

保有運搬車両 ・8tダンプ 1台 ・4tダンプ 4台 ・4tユニック 1台 ・2tダンプ 1台 ・軽トラック 1台

11. 事業年度

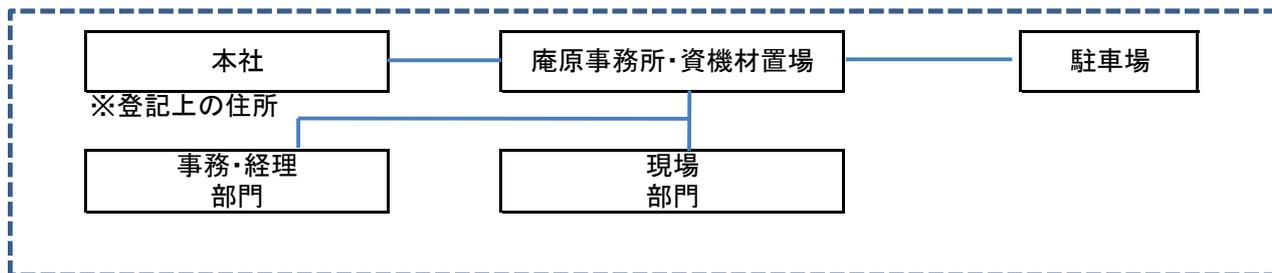
5月1日～翌年4月30日

12. 認証・登録の対象範囲

活動: 建設業(土木、とび・土工、石、管、舗装、しゅんせつ、水道施設工事業)

産業廃棄物収集運搬

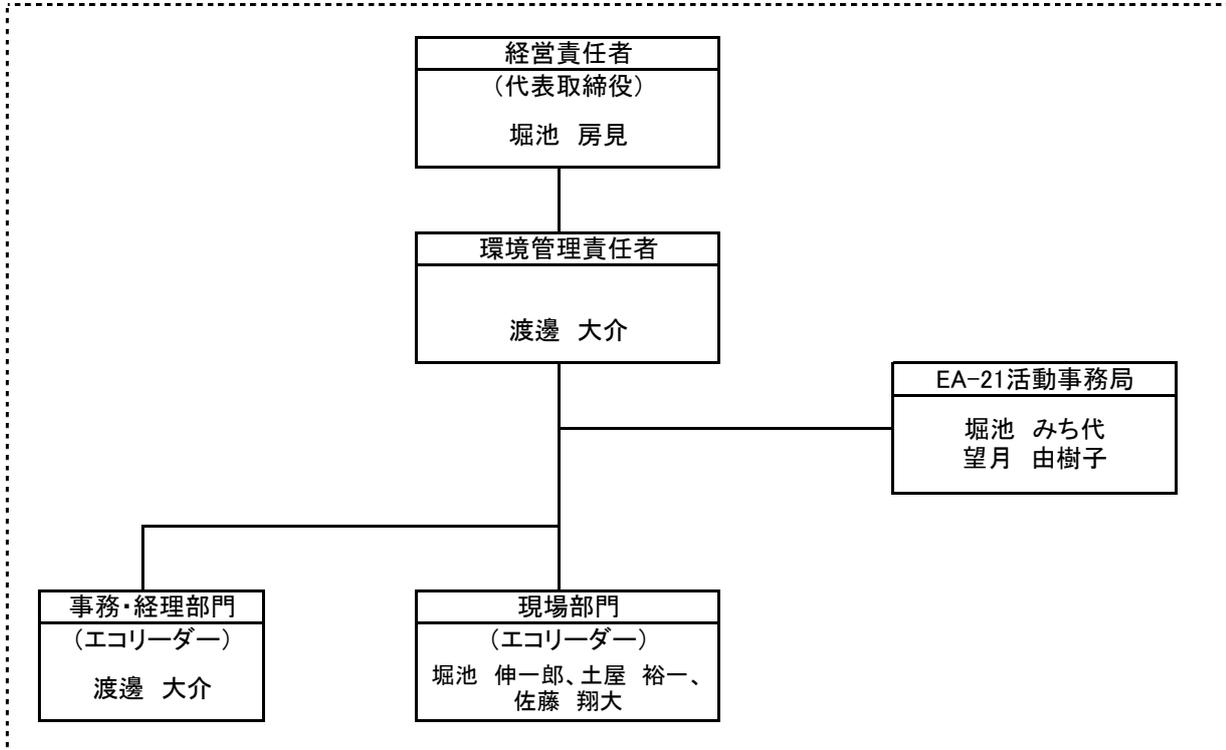
対象組織: 有限会社堀池設備工業 本社、庵原事務所(事務・経理部門、現場部門)、駐車場



## II 実施体制

作成日:2023年2月1日

対象範囲:有限会社堀池設備工業 本社、庵原事務所、駐車場



### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 経営における課題とチャンスをつまえて経営環境方針の策定と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 全体の評価と見直し・指示

#### 環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の策定
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の取組み実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 文書類の作成・管理

#### 各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 問題点の把握と是正の実施
- ③ 推進会議の出席
- ④ 従業員教育

# Ⅲ 環境経営方針

## 《環境理念》

有限会社堀池設備工業は、当社の事業活動において自然環境の保全・維持に努め、地球環境への負荷を減らす施工を心掛け、環境配慮型の企業を目指していきます。

## 《環境経営方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
  - ① CO<sub>2</sub>削減の為に省エネ活動に取り組めます。
  - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組めます。
  - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
  - ④ 事務用品、建設資材等グリーン商品の調達活動に取り組めます。
  - ⑤ すべての工事に対して環境に配慮した工事を実施いたします。
  - ⑥ 産業廃棄物は建設リサイクル法による適正処理をいたします。
  - ⑦ すべての車両、重機のエコドライブに努めます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制等を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。  
また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます

制定年月日 2023年2月1日  
有限会社 堀池設備工業  
代表取締役 堀池 房見

## IV 環境経営目標

### 1. 単年度運用期間(2023年5月～2024年4月)

項目	単位	基準期間		
		2021年5月～2022年4月		
		基準値	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	44,469	44,024	
内訳	電力(事務所)	kWh	1,877	1,858
	ガソリン(建設現場)	L	5,718	5,661
	軽油(建設現場)	L	11,784	11,666
廃棄物	産業廃棄物排出量(元請工事受注時)	t	41.1	40.7
水道使用量		m <sup>3</sup>	35	34.7
事務用品、建設資材等グリーン購入の推進		品	-	通年
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	100	95～100
	環境配慮工事の提案	件	-	全件

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－R1年度実績－ R3.1.7 環境省・経済産業省公表、R3.7.19の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.426(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

### 2. 中期の環境経営目標(2024年度以降見直し)

項目	単位	基準年	中期3年間年度目標				
		2023年	2024年	2025年	2026年		
		2023年5月～2024年4月	2024年5月～2025年4月	2025年5月～2026年4月	2026年5月～2027年4月		
	削減%	基準	-1%	-2%	-3%		
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	33,365	33,031	32,698	32,364		
内訳	電力(事務所)	kWh	6,546	6,480	6,415	6,350	
	ガソリン(建設現場)	L	3,961	3,921	3,882	3,842	
	軽油(建設現場)	L	8,289	8,206	8,123	8,040	
廃棄物	※産業廃棄物排出量(元請工事受注時)	t	41.1	40.7	40.3	39.9	
水道使用量		m <sup>3</sup>	39	38.6	38.2	37.8	
事務用品、建設資材等グリーン購入の推進		品	-	通年	通年	通年	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	100	95～100	95～100	95～100	
	環境配慮工事の提案	件	-	全件	全件	全件	

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－R1年度実績－ R3.1.7 環境省・経済産業省公表、R3.7.19の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.426(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

- 基準年は、事務所新設、車両使用実態の変更に合わせて2023年度実績に変更した。
- 事務用品、建設資材等のグリーン購入は、目標値設定が難しい事から常に取り組んでいく事とする。
- 環境に配慮した自社の取り組みの環境配慮工事の提案についても、目標設定が難しく事からすべての工事に対して提案していく。

※ 中期の環境経営目標(産業廃棄物排出量について)

今回見直しをおこなった2023年5月～2024年4月期間に於いて元請工事による産業廃棄物の排出実績が軽微の為、産業廃棄物排出量の基準は当初基準であった2021年5月～2022年4月の実績を基準として採用している。

# V 環境経営計画

(運用期間:2023年2月~2023年4月)

目標	区分	項目	活動項目	期間	責任者
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	① 消灯の徹底	通年	渡邊
			② 高効率照明機器の導入(LED化)	通年	渡邊
			③ 不在時、未使用時の消灯の徹底	通年	渡邊
		空調	① 冷暖房の温度は控えめに設定する	通年	渡邊
			② クールビズ、ウォームビズ	通年	渡邊
			③ フィルター定期清掃	通年	渡邊
	④ 使用していない部屋の空調停止		通年	渡邊	
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	① 全車両のエコドライブ実施	通年	堀池、土屋、佐藤
			② アイドリングストップの実施	通年	堀池、土屋、佐藤
			③ 日常・定期点検の実施	通年	堀池、土屋、佐藤
			④ 省エネ車の導入検討	通年	堀池、土屋、佐藤
			⑤ 排ガス対応車の導入検討	通年	堀池、土屋、佐藤
重機		① アイドリングストップの実施	通年	堀池、土屋、佐藤	
② 省エネ重機の使用	通年	堀池、土屋、佐藤			
廃棄物排出量の削減	事務所	紙	① コピー用紙の両面使用	通年	渡邊、堀池、望月
			② 裏紙の利用	通年	渡邊、堀池、望月
			③ 電子メール化によるコピー用紙の削減	通年	渡邊、堀池、望月
			④ 用紙の使用料の把握	通年	渡邊、堀池、望月
			⑤ 無駄なコピーの削減	通年	渡邊、堀池、望月
	現場	① 廃棄物の分別	通年	堀池、土屋、佐藤	
		② マニフェストによる適正管理	通年	堀池、土屋、佐藤	
		③ 仮設資材、用具の再利用	通年	堀池、土屋、佐藤	
水道使用量	上水	① 節水の周知徹底	通年	渡邊	
		② 漏水の点検	通年	渡邊	
		③ ストップガンの取付け	通年	渡邊	
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事の推進	① 工期の短縮	通年	堀池、土屋、佐藤	
		② 排出ガス対策型建設機械の利用推進	通年	堀池、土屋、佐藤	
		③ 低騒音・低振動型建設機械の利用促進	通年	堀池、土屋、佐藤	
		④ 現場の整理整頓	通年	堀池、土屋、佐藤	
グリーン購入	グリーン購入の推進	① 事務用品等新規購入時、グリーン購入の検討	通年	渡邊、堀池、望月	
		② 建設資材等購入時のグリーン購入の検討	通年	渡邊、堀池、望月	
		③ 無駄なコピーの削減	通年	渡邊、堀池、望月	

## VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

### ①運用期間(2023年5月～2024年4月)の環境経営目標の実績

項目	単位	基準期間	運用期間					
		2021年5月 ～ 2022年4月	2023年5月 ～ 2024年4月					
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	*実績増減率	評価	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	800	-1%	792	2,789	249%	×	
内訳	電力	kWh	1,877	-1%	1,858	6,546	249%	×
	ガソリン	L	-	-	-	-	-	-
	灯油	L	-	-	-	-	-	-
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	43,669	-1%	43,232	30,576	-30%	○	
内訳	電力	kWh	-	-	-	-	-	-
	ガソリン	L	5,718	-1%	5,661	3,961	-30%	○
	軽油	L	11,784	-1%	11,666	8,289	-30%	○
二酸化炭素総排出量(合計)	kg-CO <sub>2</sub>	44,469	-1%	44,024	33,365	-25%	○	
廃棄物排出量 (自社排出量)	一般廃棄物排出量	t	-	-	-	-	-	-
	産業廃棄物排出量	t	41.1	-1%	41	0.56	-99%	○
水道使用量	m <sup>3</sup>	35	-1%	35	39	11%	×	
建設資材等のグリーン購入率向上	%	-		現状把握				
環境に配慮した 自社の取り組み	建設副産物リサイクル 率向上	%	100.0		100.0	100.0		-
	環境配慮工事の提案	件	-		現状把握			
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件	-		現状把握			

\* 実績削減率=(実績値-基準値)/基準値 x100%

### <評価>

事務所(電力)	原因	事務所設置に伴う電力消費量の増加。
	是正	事務所設置により、消費電力が大幅に増加。今後、基準期間の見直しを行い、目標の変更を行う。
水道使用量	原因	水道使用量は事業活動に伴うもの。ストップガンをつけるなど節水対策は十分に出来ているものと思われ、事業活動に必要な水が増加したものと思われる。
	是正	自社における節水対策は行われており、従業員に対する意識づけも十分に行われていると思われ、引き続き節水に務めていく。

②次年度の環境経営目標：p5 2. 中期環境経営目標の基準年変更(事務所新設、車両使用実態の変更後の2023年度実績に変更。)

## Ⅶ 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年5月～2024年4月)

目的	区分	項目	責任者	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	渡邊	① 消灯の徹底(1回/週チェックする)	○	徹底されている	継続実施
				② 高効率照明機器の導入(LED化)	○	実施された	継続実施
				③ 不在時、未使用時の消灯の徹底	○	実施された	継続実施
		空調	渡邊	① 冷暖房の温度は控えめに設定する	△	表示、朝礼時説明	継続実施
				② クールビズ、ウォームビズ	○	表示、朝礼時説明	継続実施
				③ フィルター定期清掃	△	月一度実施	継続実施
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	堀池 土屋 佐藤	④ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
				① 全車両のエコドライブ実施	○	エコドライブの周知	継続実施
				② アイドリングストップの実施	○	アイドリングストップの周知	継続実施
				③ 日常・定期点検の実施	○	業者による年1回点検	継続実施
④ 省エネ車の導入検討	△			計画中	今後計画		
重機	堀池 土屋 佐藤	⑤ 排ガス対応車の導入検討	△	計画中	今後計画		
		① アイドリングストップ	○	実施されている	継続実施		
廃棄物排出量の削減	事務所	紙	渡邊 堀池 望月	① コピー用紙の両面使用	○	実施されている	継続実施
				② 裏紙の利用	△	一部実施	継続実施
				③ 電子メール化によるコピー用紙の削減	○	実施されている	継続実施
				④ 用紙の使用料の把握	○	実施されている	継続実施
				⑤ 無駄なコピーの削減	○	実施されている	継続実施
	現場	堀池 土屋 佐藤	① 廃棄物の分別	○	実施されている	継続実施	
			② マニフェストによる適正管理	○	実施されている	継続実施	
			③ 仮設資材、用具の再利用	○	実施されている	継続実施	
			水道使用量	上水	渡邊 堀池 望月	① 節水の周知徹底	○
② 漏水の点検	○	実施されている	継続実施				
③ ストップガンの取付け	○	実施されている	継続実施				
環境に配慮した自社の取り組み	環境配慮工事の推進	堀池 土屋 佐藤	① 工期の短縮	○	実施されている	継続実施	
			② 排出ガス対策型建設機械の利用推進	○	実施されている	継続実施	
			③ 低騒音・低振動型建設機械の利用促進	○	実施されている	継続実施	
			④ 現場の整理整頓	○	実施されている	継続実施	
グリーン購入	グリーン購入の推進	渡邊 堀池 望月	① 事務用品等新規購入時、グリーン購入の検討	○	実施されている	継続実施	
			② 建設資材等購入時のグリーン購入の検討	○	実施されている	継続実施	
			③ 無駄なコピーの削減	○	実施されている	継続実施	

<備考>

評価判定: ○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) -(実施が見送られた)

# VIII 当社の取組み

## ◆注意書きで社員の意識づけ◆



1F



2F

事務所節電呼び掛け



節水呼び掛け、ストップガン取付け

## ◆経営資源の投入◆



1F



2F

事務所照明(LED)

## ◆地域との融合◆



事務所周辺の清掃



工事現場周辺清掃作業



防災訓練参加(静岡市)

# IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

**1. 環境関連法規の遵守状況**  
 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年4月30日  
 評価者 環境管理責任者 渡邊 大介

法規・条例・規制		適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
義務 法律・ 条例	<b>廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)</b> <b>自らが排出事業者(元受現場+事務所)となるもの</b>	市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	業者委託時は許可証確認(契約書作成が望ましい)	○
		産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	○
		マニフェストの交付	A票(委託時、電子マニは3日以内)	○
		マニフェストの保管	A票～E票:5年間	○
		マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票:90日以内、E票:180日以内	○
	<b>静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例</b> <b>静岡市内の排出事業者(元受現場+事務所)となるもの</b>	実地確認の実施と記録保存	処分委託先の年1回の実地確認と記録作成5年間保存(委託先が優良認定業者であるときは免除)	○
	<b>廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)</b> <b>収集運搬業者(下請現場等からの運搬業務)となるもの</b>	産業廃棄物排出事業者と収集運搬契約	契約書の締結及び保存	○
		委託者へのマニフェストの返却	B2票を業務終了から10日以内に返却	○
		委託者からのマニフェストの保管	B1票及びC2票を5年間保存	○
		収集運搬許可の許可期限の確認	許可期限前に更新手続き	○
		収集運搬車両への表示	産業廃棄物収集運搬車・名称・統一番号を車両両側面へ表示	○
		帳簿の備え付け及び5年間の保存	業務年月日、排出者名、管理票番号、数量、運搬先等を記載した帳簿	○
		変更届の提出	役員・車両等に変更があったとき(10日以内)	○
	<b>静岡県産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則</b> <b>収集運搬業者(下請現場等からの運搬業務)となるもの</b>	前年度における収集運搬実績の報告	6月30日までに知事に報告(電子マニ分も含む)	○
	<b>建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)</b>	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		○
	浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
		指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
	家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし
自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	使用済自動車の引渡義務		該当なし	
	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃棄時)	○	
建設業法	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○	
	主任技術者の設置		○	
水道法	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	○	
法令	リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	該当なし

**2. 違反、訴訟等の有無**  
 関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

# X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年6月30日

1・見直し 関連情報	項目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書
2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 電力、水道未達
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 違反はありませんでした。
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 環境レポートに記載。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます。
8	その他( )	<input type="checkbox"/>

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	<p>事務所を設置した為、基準期間より電気、水道は増加となり、目標未達となった。 特に電力については大幅ば増加となっており、今後の目標達成は困難である事から中期の環境経営目標の見直しを行う事とした。 二酸化炭素排出量では目標達成となっているが、建設現場に於けるガソリン、軽油の使用料減少による要因が多い。引続きエコドライブや使用料削減を意識し、目標達成にむけて努力していく。 今後も社員一丸となり目標達成に向けて努力していきます。</p>		
	<p>2024年6月30日  <b>有限会社 堀池設備工業</b>  <b>代表取締役 堀池 房見</b></p>		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標	<input checked="" type="radio"/> 有・無	企業の実態に沿うよう基準年を2023年5月～2024年4月へ変更
	3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		